

開 会 式

開会のことば

(藤島勝雄 北海道スキー指導者協会理事長)

全道各地から指導者の方々のお集まりを頂きありがとうございます。また、各地区の会長様も多数お集まりいただいております。誠にありがとうございます。



藤島理事長

今回の「集い」は指導者制度制定70周年記念の表彰を併せて行います。

それでは只今より、第22回北海道スキー指導者協会の集い・指導者制度制定70周年記念・2009年旭川大会の開会式行います。

我々スキー界の先人の方々を偲んで黙祷を行います。 —— 黙 祷 ——



北海道スキー指導者協会役員席

大会長挨拶

(坂井敏夫 北海道スキー指導者協会会長)

第22回北海道スキー指導者協会の集い・指導者制度制定70周年記念・2009年旭川大会の開催にあたり、主催であります北海道スキー指導者協会に対しまして、旭川スキー指導員会の協力に感謝いたします。そして、この様にたくさんの方々のご参加を頂き誠にありがとうございます。協会副会長・理事長並びに役員一丸となって努力いたします。どうぞよろしく願いいたします。

本協会の目的は、加盟団体員相互の親睦と資

質の向上を図るとともに、健全なるスキー界の発展に寄与するものとあるように、この「集い」の中で、どうぞ皆様で色々な事を話し合い、そ



坂井会長

のご意見などをお聞きしたいと思っております。

本日は、日本スキー指導者協会名誉会長がおいでとなっております。

名誉会長菅秀文様は、日本スキー連盟教育本部長と理事を24年に亘り勤められた方でございますので、貴重なお話をお聞かせ頂ける事を楽しみにしております。

以上で、私のあいさつを終わります。どうぞよろしく願いいたします。

祝 辞

(吉田英一 助北海道スキー連盟教育本部長)

北海道スキー指導者協会におかれましては、日頃より北海道スキー連盟教育本部の事業に特段のご協力をいただきまして誠に有難うございます。

本日は、「第22回北海道スキー指導者協会の集い 指導者制度制定70周年記念 2009旭川大会」の開催、誠にありがとうございます。

貴協会は、昭和27年「北海道一般スキー指導員会」として発足以来、名称を変えつつも一貫してスキーの普及発展のためにご尽力を頂きましたことに対し、深く敬意を表するところであります。

“指導員の親睦と資質の向上”のための機関誌「シュプール」の発行及び「集い」の開催、また、指導者制度制定「周年記念事業」の開催など、どれも道連教育本部には為し得ない事業を展開していただいております。

特に本年は、昭和14年五色温泉で「指導者講習会」が開催されてから70年の節目に当たり記念式典を開催するとのこと、誠に意義深いもの

があります。

この講習会は、我々の大先達柴田信一先生が関わって成し得たことであり、他に類を見ない「指導者制度」の礎となった講習会でありました。我々指導員の誇れるところでもあります。

また、本日の「集い」に、世界的に著名な冒険家であり教育者であります三浦雄一郎氏をお迎えしての「講演」は、大いに期待が持てることと思います。

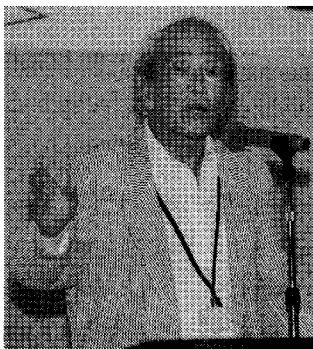
このように毎回、時節に合った講師を招いての講演会は、全道の指導員から評価されているところであり、これからも長く続けられんことを熱望いたします。

今後とも、教育本部のみならず北海道スキー連盟へのご協力をお願いし、貴協会がますます指導員の皆様方への啓蒙活動に取り組まれることをご祈念申し上げてお祝いの言葉といたします。本日は、誠におめでとうございます。

祝 辞

(菅 秀文 日本スキー指導者協会名誉会長)

皆様、こんにちは、菅と申します。今回は知床方面への観光旅行の途中、突然出席をさせていただきました。



菅名誉会長あいさつ

旭川の方々には、まずお詫びをしたいと思います。

1987年バンフ（カナダ）で行われた第13回インタースキーにおいて、次期開催地として旭川が立候補しました。その際私の根回しというか、スキーの未開発国への接触を行わなかったため、票の取りまとめがうまくいかず、残念ながら敗退した経緯があります。当時の旭川市長、旭川スキー連盟会長そして誘致に係わった関係者の方々にあらためてお詫びを申し上げます。

「レルビ」は、新潟県で日本初めてのスキーの講習を行っています。この旭川は、日本で初めて団体的、組織的に基礎スキーの指導が行



会場風景

われた地ですので、旭川は日本の教師であり、また一番古い地といえるでしょう。

そして、北海道に目を移してみますと、柴田信一さんが「幻のターン」を発表し、私たちを惑わせたものです。そのターンを継承した北海道協会顧問毛利修三さん、シュプールには中村啓二郎協会副会長が「シュナイデン」と載せているものであります。

日本では、「カービングターン」と言っているようですが、世界では通用しない名であって、その「幻のターン」こそ「シュナイデン」であります。

今、国際的に経済、景気が良くない中、我々がどうしたら良いのか、見極めてもらいたい。坂井会長さんは、スキー普及委員長時代に、子供達にチャレンジ精神を高める為に、ジュニアテストをつくりました。

北海道の指導者は、全国に対し指導力を持っております。

皆さん、お元気で益々のご活躍願います。

歓迎のことば

(加藤英二 旭川スキー指導員会会長)

本日は、第22回北海道スキー指導者協会の集い・旭川大会に全道24地区から100名を超える会員の皆様をお迎えすることができ、心から歓迎申し上げます。

そして、ご多忙中にも拘らずご講演を頂きます三浦雄一郎様には、この旭川の集いに特別のご配慮を頂きましたことを厚く御礼申し上げますとともに、日本スキー指導者協会菅秀文名誉



加藤会長

会長のご出席も頂きました事、感謝申し上げます。

本年は、スキー指導者制度制定70周年の年でもあり、表彰式を行う事も重なりました。受賞されます皆様には、スキー指導に長い間尽力されたご苦勞に感謝し「おめでとうございます」と申し上げます。

この集いのプログラムの表紙を『レルヒ中佐顕彰像』にしました。ご存知の方も多いと思いますが、「レルヒ」と旭川市は深い関係にありまして、1911年（明治44年）、レルヒにより新潟県で日本初めてのスキー講習会が行われ、翌年の1912年（明治45年）には旭川で講習会が行われました。

従って、旭川市は北海道スキー発祥の地でもあり、近郊の春光台公園には『北海道スキー発祥の地碑』が、1966年（昭和41年）の第21回国民体育大会スキー競技会開催を記念して建立され、1990年（平成2年）には、旭川開村100年を記念して旭川空港にプログラム表紙の『レルヒ中佐顕彰像』が建立されました。

両像ともに目立つ所には在りませんが、機会がありましたら是非お立ち寄りくださりスキーの歴史に思いを馳せていただきたいものです。

この集いを開催するにあたり、数回の打合せを持ち、万全を期した積もりですが不行き届きなことがありましたならば、何なりと言って頂きたいと思えます。

本日の集いが実りのあるものになる事を確信し、言葉足らずですが歓迎のことばといたします。

表彰式

（藤島勝雄 北海道スキー指導者協会理事長）

表彰式の準備が出来るまでの幕間をお借りしまして一言申し上げます。

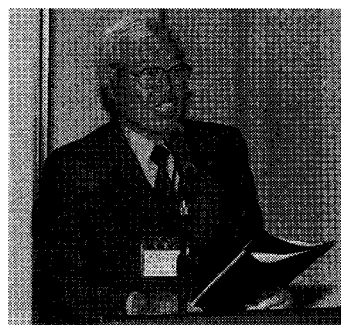
今回の70周年記念の「表彰状」のことで、私ども道協会役員の中で議論がありました。

「今の時代、表彰状一枚では物足りない。何か記念になるものを贈ってはどうか?」「いや、物のことを言い出したらきりが無い」などで中々結論が出ず、各地区の会長さんが集まる“加盟団体会長会議”でご意見を聞くことにしました。

この会議でも議論百出しました。

その中で、ある地区の会長さんが、「それは受ける人の気持ちの問題だ。たった表彰状一枚か!と思うか、価値あることと思うかはその人自身の問題。気持ちを込めて贈る、気持ちを持って受ける。表彰状一枚でもいい。」とのことばでした。

今日は「表彰状一枚」ですが、気持ちのこもった表彰状です、どうぞお受取下さい。



受賞者の氏名を読み上げる
西田副会長

西田 孝 北海道スキー指導者協会副理事長の呼名により、次のような表彰状が坂井会長から一人ひとりに手渡されました。

『表彰状 あなたは永年にわたりスキーの先達として本協会の目的達成事業の推進に率先努力され卓抜した技術指導力をもってスキーの普及発展後継者の育成に寄与されましたここにスキー指導者制度七十周年記念に当たりその顕著な功績をたたえ深甚の敬意と感謝の意をこめ表彰します

平成二十一年七月四日

北海道スキー指導者協会 会長 坂井敏夫』

御礼のことば

(受賞者代表：旭川スキー指導員会 三輪保夫)



受賞者を代表して三輪氏が謝辞

受賞者一同に代わりまして、一言お礼のことばを申し上げます。伝統ある北海道スキー指導者協会の集いの席で荣誉ある表彰を頂き、たいへん嬉しくまた感激しております。思えば三十数年前、それぞれ目標をもって準指導員の取得にチャレンジし、極寒のナイター講習、猛吹雪の中での養成講習会など、ひたすらスキー場に通い1シーズン数十日を越すに及んだ記憶が今蘇ってきます。

当時の検定種目は、ゲレシュン、横滑り、斜滑降など多くの種目がありましたが、その技術は今も生きてると私は信じております。そして、ご指導くださいました講師、先輩の先生方のアドバイスは、いまだに忘れることありません。

また、合格発表の瞬間、あの喜びは格別なものがありました。これからも初心忘れることなく指導者として自覚と誇りを持ち、スキー界の発展とスキーの楽しさを広め、あわせて雪国での体力づくりの一助として貢献したいと考えています。今後も御指導等をお願いしましてお礼

のことばと致します。

講演会

講師紹介

(小林 茂 旭川スキー指導員会副会長)



小林副会長

皆さんご苦勞様です。今、理事長から話がありました通り、もう三浦先生のご紹介なんていう話はいらんぞという雰囲気だと思いますが、少しでもご紹介させていただきます。

私は、プロフィールの中にあります三浦先生の学校に勤めさせていただいております。スキーのことはさておいて、先生の一番すばらしい所、常々考えているのですが、いろいろな世界的な偉業を成し遂げた先生なのですが、決して偉ぶることなく、本当に気さくな人柄、こういうものに非常に感銘を受けている一人でございます。ぜひ今日は三浦先生から「元気をいただく会」ということで、講話をよろしくお願ひしたいと思います。

先生のお話の中に、一昨年あたりから後期高齢者の話が出ておりますけれども、「俺は元気高齢者だ」という事で、益々元気に、また80歳を目指して何かをしようということで、いつも夢を持って生活をしている先生であります。

早く先生の話を知りたいとの思いが伝わってきますので、三浦先生をご紹介致します。

三浦先生、どうぞよろしくお願ひいたします。